

CONTENTS

2007
5

土と基礎

Vol.55 No.5 Ser.No.592

地盤工学会誌

- 口絵写真 | 防災10か条—2004年新潟県中越地震の経験を踏まえて—
二次元浸透破壊の遠心模型実験
講座「粒子特性の評価と工学的意義」
3.粒径・粒度の評価と土の力学挙動
2007年3月25日能登半島地震の被害状況（速報）

小特集テーマ：地震災害と防災

総説	強大長持続時間地震動と地盤構造物性能設計の課題 1 ●石原 研而
論説	首都圏直下地震に備える地盤工学の課題 3 ●國生 剛治
	東京の地震被害想定小史から見た震災イメージの変遷 7 ●小川 好
	南海地震に対する四国地域の地盤防災の現状 11 ●矢田部 龍一／長谷川 修一／岡村 未対／ネトラ・バンダリー
	地震災害時の地方自治体支援 14 ●橋場 克司
	地震に係わる防災教育と防災訓練—新潟県・中越市民防災安全大学— 18 ●平井 邦彦
論説 (投稿)	防災10か条—2004年新潟県中越地震の経験を踏まえて— 22 ●鴨井 幸彦
論説	宅地基礎・地盤の耐震診断と耐震改修 25 ●橋本 隆雄
	地盤と基礎の地震防災のための E-ディフェンスによる震動台実験 29 ●佐藤 正義／田端 憲太郎／時松 孝次
報告 (投稿)	二次元浸透破壊の遠心模型実験 33 ●森 洋／新井 曜子
ISOだより -86	ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）への期待高まる！ —20年ぶりの国連・食糧農業機構（FAO）の参入 36 ●地盤工学会 ISO 国内委員会
技術手帳	深層混合処理工法 38 ●北詰 昌樹

複写をされる方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先：(中法)学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

電話 (03)3475-5618 FAX (03)3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡下さい。

アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

ニュース	2007年3月25日能登半島地震の被害状況(速報).....40
	●2007年能登半島地震災害土木学会・地盤工学会合同調査団
	平成18年度地盤工学会賞受賞者の決定.....42
講座	粒子特性の評価と工学的意義
	2. 粒子特性の評価と実問題(その2).....43
	●兵動 正幸/森脇 武夫/藤井 照久/片桐 雅明
	3. 粒径・粒度の評価と土の力学挙動.....47
	●石川 達也/兵動 正幸/陳 光斉
	近接工事の調査・設計・施工技術
	3. 近接施工の判定と調査.....53
	●山下 俊英/杉本 隆男
Soils and Foundations の紹介	「Soils and Foundations」Vol. 47, No. 2
	(2007年4月発行)掲載論文の概要.....62
	●論文報告集編集委員会
	元関西支部長、名誉会員、功労章受章者 横尾 義貫先生のご逝去を悼む.....前付
	近着の市販雑誌から、新入会員.....66
	編集後記.....67